

一般 (黄)	学生獣医 (緑)	獣医師 (赤)
--------	----------	---------

活動開始時刻を記入してください

ボランティア名簿 (一般、学生獣医、獣医師会) No.

氏名:	才 男、女	連絡先電話番号
現住所:		
職業 (学校名、勤務先、配属元):		

電話受付日 月 日

ボランティア活動に協力していただける方法に○をつけ、数字も御記入下さい。

回数	期間	期限
曜日	( ) 日	今回 月 日から
( ) 週 H	( ) 週	月 日まで
( ) 毎日	( ) カ月	今後 月 日から
( ) 泊まり込み	時間帯 ~	月 日まで

泊

(赤) 連日

(緑) 時々

(黄) まれ  
・  
1回のみ  
(茶)

当救護センターに於けるボランティア協力記録 (予定、経歴)

月 日 から	月 日	( 散歩ほか、半日、泊まり )
月 日 から	月 日	( 散歩ほか、半日、泊まり )
月 日 から	月 日	( 散歩ほか、半日、泊まり )
月 日 から	月 日	( 散歩ほか、半日、泊まり )
月 日 から	月 日	( 散歩ほか、半日、泊まり )
月 日 から	月 日	( 散歩ほか、半日、泊まり )
月 日 から	月 日	( 散歩ほか、半日、泊まり )

リピーター  
(青)

活動区分

- 散歩、犬舎周辺業務、犬舎内管理、ボランティアチーフ、トリマー、AHT診療補助
- 獣医学生、動物診療

活動終了後記入

### ボランティア登録名簿

氏名	( ) 才) 男・女 職業		
住所	〒 ( ) 都府県 ( ) 市区郡 ( ) 町 ( ) 番		
勤務先	名称	電話 ( )	内線
	住所	〒 ( ) 都府県 ( ) 市区郡 ( ) 町	

### 動物飼育歴

期間 (年数)	動物の種類
年 月～ 年 月 ( 年 カ月)	
年 月～ 年 月 ( 年 カ月)	
年 月～ 年 月 ( 年 カ月)	
年 月～ 年 月 ( 年 カ月)	

### ボランティア予定

回数	期 間	持込可能物	(返還の要否)
1	年 月 日～ 年 月 日		(要・否)
2	年 月 日～ 年 月 日		(要・否)
3	年 月 日～ 年 月 日		(要・否)
4	年 月 日～ 年 月 日		(要・否)
5	年 月 日～ 年 月 日		(要・否)

### 動物関係ボランティア経験

年 月	場 所	内 容
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		

特記事項	
------	--

## 獣医師ボランティアの方へ

- ※ ボランティア参加時間及び帰宅時間は個人の都合のよい時に。
- ※ 犬舎、猫舎は担当者以外立入禁止（伝染病予防のため）
- ※ 動物と接するときは、無理をしない、また、不用意に近づかない。

### はじめに

御多忙の中、当施設への御協力誠に有り難うございます。

動物は犬猫が主で、迷子の他、一時預かりも居ります。逃亡にはくれぐれも御注意下さい。

当施設は神戸市獣医師会と神戸市との協力の下、神戸市動物管理センター敷地内に設置しており、1月からはビニールハウス、5月よりこのプレハブ舎で被災犬猫達を保護して参りました。動物の入舎の際には、被災者の飼育動物である事を確認するなどの審査を行っています。

このセンター内での診察は施設内保護動物の救済、健康維持のための獣医療であり、この施設近隣の市民に対して無料診療を行うものではありません。

また、施設内では疾病の蔓延を防ぐため消毒、汚染に対して特に留意しております。

各先生方にも、ご協力頂きますよう、お願いいたします。

### お手伝いして戴きたい業務

1. 初診ならびに継続治療、検査など
2. 午前10時から、約2時間かけて動物舎の給餌清掃を行います。動物舎内でボランティア達の活動に御協力を頂きながら、各動物の健康状態の観察をお願いいたします。  
動物に不調がある場合、ボランティアから依頼がありますので相談に応じて頂き、応急手当が必要な場合は、適宜治療ならびに記録をお願い致します。内容については午後1時以降の診察の際に御知らせ下さい。現場に詳しい獣医師は午後から参加します。  
緊急に獣医師の手が必要な場合は、専属ボランティアにお申し出下さい。担当獣医師に連絡が入り次第、対応いたします。
3. 午後12時から1時まで昼食休憩
4. 午後1時30分から当番の神戸市獣医師会獣医師と共に傷病動物の診察、継続治療など  
継続治療については、市田救護センター所長、佐々木獣医師にお尋ね下さい。  
日帰りでご参加の先生方には、午後4時頃に終了して頂いて結構です。
5. 宿泊される獣医師は、専属ボランティアに宿泊その他の施設について説明をお受け下さい。  
また夜間でも、必要とあれば治療および診察を御願ひします。
6. 里親、新規預かりの対応については、混乱を避けるためなるべく神戸市獣医師会か、福祉協会、専属ボランティアにお任せ下さい。
7. 治療内容はカルテに記載し、翌日に引き継げるように願います。

そのほかの留意点

1. 各ボランティア獣医師は、互いに協力し合って良い成果が上がるようにご尽力いただけますことをお願いいたします。
2. 一般ボランティアの活動に適當でない行動が有れば、ボランティアの主旨に沿うように適宜ご指導戴けると幸いです。
3. 当施設は保安上の観点から、門限が5時30分ですので、それ以後の当施設の出入りはご遠慮下さい。消灯は12時です。
4. 緊急連絡をとりたい方は、事務所までご連絡下さい。 夜間は、動物管理センターの前にある「緑の公衆電話」を御利用下さい。

そのほかのお願い

1. けがをされた場合は、迷惑なさらずに、必ず事務所受付まで申し出て下さい。
2. 動物は犬猫が主ですが、迷子の他、一時預かりも居りますので逃亡にはくれぐれも御注意下さい。  
扉や窓の開閉の際、逃げている動物が居ないか、戸締まりが出来ているかご確認下さい。
3. Tシャツやシールなどの支援グッズも用意しております。義援金を兼ねてお買い求め頂けますと幸いです。

## 外出宿泊届

三田 動物救護センター所長殿 Na \_\_\_\_\_  
神戸

届出者氏名 \_\_\_\_\_ 所属団体又は派遣者名 \_\_\_\_\_

外出及び宿泊日

\_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 午前・午後 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分 ~ \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 午前・午後 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分

行き先場所 \_\_\_\_\_ 連絡先電話 \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

同行者氏名 \_\_\_\_\_

受付年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 受付者氏名 \_\_\_\_\_ ㊟

兵震動発第 号

平成7年3月29日

社兵庫県獣医師会会長殿

社神戸市獣医師会会長殿

兵庫県南部地震動物救援本部

本部長 鷺尾 勝彦

被災動物の避妊について (依頼)

被災動物の救護活動については平素から格別のご協力とご支援をいただき厚くお礼申し上げます。おかげをもちまして震災から後3月29日現在で774頭の被災動物を救護し、新たな飼い主を見つける等の事業を展開したところ内410頭の動物が新たな飼い主に引き取られる等救済事業も着実な効果が上がり、多くの県民方から感謝の声が寄せられています。

さて、対策本部ではこの度、三田動物救護センター並びに神戸動物救護センターで収容保管している動物の適正な管理と動物の精神的安定を図り、また、里親として新たな飼い主のもとで不幸な子供を生ませない事目的を持って今後、各救護センターで保護している動物の避妊、去勢手術を下記により行うこととしました。

この避妊、去勢手術の事業は被災動物の救護と動物愛護の観点から実施しようとするものであり、手術に要する経費の負担は被災動物の救護に寄せられた寄附金と社日本動物福祉協会の資金援助を得て実施しようとするものです。

つきましては、事業実施にあたっては事業の趣旨をご理解いただき社兵庫県獣医師会、社神戸市獣医師会会長諸氏の格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 対象

三田並びに神戸の動物救護センターで保護され、所有権が放棄された犬、猫とする。

2 手術実施者

三田動物救護センターの動物は社兵庫県獣医師会が担当し、神戸動物救護センターの動物は社神戸市獣医師会が担当する。

3 手術経費

雌犬20,000円、雄犬15,000円、雌ねこ15,000円、雄ねこ10,000円とし経費は動物救援本部と社動物福祉協会が折半し支払う事とする。

1 1日の作業等スケジュール

7:30	起床
8:00	朝食・ミーティング
9:00	作業開始 ○ボランティア名簿記入 ○犬の散歩等 ○犬舎・猫舎等清掃・消毒
12:00	昼食 ○作業
15:00	○犬をケージに戻す ○犬・猫等の食事 ○犬の散歩等
19:00	夕食
20:00	ミーティング
21:00	消灯

時刻	作業等内容	注意事項等
7:30	起床	
8:00	朝食準備、センター内清掃 犬舎・猫舎の毛布あげ	全員で協力しましょう。 犬舎・猫舎入室時は、 <u>長靴に履き替えて、消毒槽に入る</u> こと（伝染病予防のため）
9:00	朝食・ミーティング（散歩コース下見） センター内作業開始 1 犬の散歩（散歩時には、糞便袋を2～3枚持ち、 <u>糞便及び尿のチェック</u> をし、 <u>結果を必ず犬舎担当のボランティアの方に伝えてください。</u> 散歩後は、犬を外に繋ぎ、水を与えること。（繋ぎ場所での糞便チェック等も忘れず） 2 犬舎・猫舎の清掃・消毒 ① 犬舎・猫舎の窓を開け、空気の入れ換えを ② ケージ内の餌の食べ残し量（猫の夕食分）、糞便や尿の状態等をチェックし、「健康チェック表」に記入⇒異常がある場合、犬舎・猫舎担当ボランティアは獣医師に連絡	糞便のチェックとは⇒正常or軟便or下痢便or血便等 尿のチェックとは⇒色等を見る（黄色or茶色or赤色等） 猫舎は金網の付いている窓のみ開ける（猫の脱出予防） 食べ残し量のチェックとは⇒「全部食べた」or「半分以上残した」

時刻	作業等内容	注意事項等
12:00	③ 食器類、ケージ底板、ケージトレイ、猫砂用器の洗浄・消毒  ④ 犬・猫の食事 昼食・休憩	洗浄・消毒は犬舎・猫舎外で行う。(地面に消毒液の水溜まりを作らないよう→動物が舐める)  作業のキリがよいところで、順次食事を取ってください。
13:00	作業開始 1 清掃・消毒の続き等 2 各動物の餌の食べ残し量等のチェックをし、「健康チェック表」に記入(犬・猫等の朝食分) 3 食器の回収、洗浄・消毒	
15:00	犬の散歩等開始 1 散歩時の注意事項等は、午前中と同じ。 2 散歩から帰ったら、犬舎内に入れ食事と水を与える。 3 食器等を回収し、犬は各ケージに入れる。その際、各犬の餌の食残し量等をチェックし、「健康チェック表」に記入(犬の夕食分) 4 ケージ内には、水を入れた食器を入れておく。 5 犬の係留場所の清掃等(こぼれたフード等を清掃)	
17:00	1 休憩 2 犬舎及び猫舎の各ケージに、毛布をかける。	
19:00	夕食	片付けはみんなです。
20:00	ボランティア・ミーティング (反省会・意見交換等の場所です)	自由参加ですが、可能な限り参加してください。
0:00	消灯(消灯前に、外の水道は凍結防止のため、水を出し、給湯器は水抜き)	